

まちのわだい

あなたの周りで起きた出来事や楽しい話題、イベントなどの身近な情報をお待ちしています。

▷お問い合わせ 広報情報係
(☎223局3569)



はっさく 健やかな成長を願って八朔の節句

9月1日～23日 第14回筑前芦屋だごびーなとわら馬まつり

300年以上前から続く筑前芦屋の伝統行事「八朔の節句」。子どもが生まれ、初めて迎える8月朔日(旧暦の8月1日。現代の9月1日)に、男の子にはわらで作ったわら馬を、女の子には米粉で作っただごびーな(団子雛)を飾り、健やかな成長を願います。この伝統を後世に伝え続けるために、筑前芦屋だごびーなとわら馬まつり実行委員会の皆さんと芦屋町観光協会が一緒になって、町内各所に展示をし、最終日には来場者にわら馬をプレゼントしました。

ICT教育環境 授業のサポートをタブレットで

町内3小学校と中学校で学習用タブレット

昨年度、電子黒板を設置したのに加えて、今年度の2学期から児童生徒が直接手にとって利用する学習用タブレット端末387台が導入されました。中藤沙耶さん(中学3年生)は「初めは自分にできるか心配だったけど、だんだん分かりやすくて使いやすいと思うようになりました。先生が黒板に書く時間も短縮されて、効率よく楽しく授業を受けることができます」と利便性を実感していました。



演奏者も観客も一段とパワーアップ

8月25日 ASHIYAシンフォニック吹奏楽団

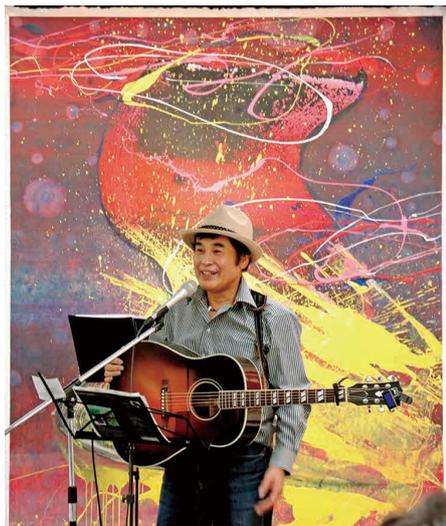
9回目を迎えた定期演奏会が町民会館で行われました。総勢52人の奏でる音は、体に振動が響いてきて迫力があるものでした。第1部はクラシック、第2部はポップスで構成され、聞きなれた曲のメロディーに手拍子をしたり体を揺らしたりしていました。また、小さな子どもたちにも大人気の曲「パプリカ」では、曲に合わせて会場でもかわいいダンスが見られました。



生粋の芦屋っ子、100歳の誕生日を迎えました

いつまでもお元気で

満100歳を迎えた合六スミ子さん（幸町）に波多野町長からお祝い状などが贈られました。合六さんは芦屋生まれの芦屋育ち。仕事で芦屋町に来ていた佐賀県出身の男性と出会い結婚し、3人の子どもに恵まれました。子育てをしながら豆腐店や風呂屋など昼夜を問わずよく働いたそうです。食事は何でも食べて、大きな声でよく話し、よく笑うのが長寿の秘訣とのことです。



美しいシルクスクリーンの世界

9月7日～23日 ギャラリーあしや石橋高次 絵画展

芦屋町出身の芸術家、石橋高次さん制作の美しいシルクスクリーンの世界がギャラリーに広がりました。キャンバスの背景に金沢市の金箔をふんだんに使ったゴージャスなものも展示されており、パワーあふれる作品の数々に来場者が魅了されていました。初日には石橋さんの歌とアコースティックギターのライブと山元ビルダーズのゲストライブが行われ、会場の外にまで観客があふれていました。また、シルクスクリーンの体験ワークショップやギャラリートークも行われました。北九州市庁舎に石橋さんの作品が展示されていることもあり、北九州市長の北橋健治さんも来場されました。



ごみを減らしたい 一人ひとりの意識で

9月8日 芦屋・若松クリーンキャンペーン×遠賀川流域住民の会

柏原海岸に483人のボランティアが集合し、遠賀川上流から流れ着いたごみを拾い海岸を美しくするための清掃活動を行いました。一部区画のごみを分類調査してみると半分以上がプラスチック類ということが分かりました。中間高校の北山さん（高校2年生）は「地元で清掃活動をしてみて、海岸にはゴミが多く、特にビニールやストローなどのプラスチックゴミが多いと感じました」と話していました。

